

2023. 4. 30

山口県子ども読書支援センター（山口県立山口図書館）発行
TEL083-924-2113 FAX083-932-2817 <http://library.pref.yamaguchi.lg.jp>

★メールマガジン「本はともだち～山口県子ども読書支援センターニュース」配信中！

メールマガジン「本はともだち」は、新刊紹介や県内の行事など、より充実した内容で配信中です。読者登録の方法は県立図書館のホームページをご覧ください。

【山口県子ども読書支援センター 直通電話設置のお知らせ】

※直通電話の番号は、083-924-2113（子ども読書支援センター）です。どうぞご利用下さい。

【山口県子ども読書支援センター行事】

★「幼児のためのおはなし会」（毎月第一火曜日）

○日時：5月9日（火）11：00～11：20 ○会場：山口県立山口図書館 第2研修室 ○対象：幼児 ○定員：6組程度
《4月のおはなし会で使った本》

たけのこほりほり 土田義晴/脚本・絵 童心社 2010.5

きる・おる かみであそぼう こすぎ けいこ/さく 福音館書店 1992.1

つくってみようかみがくるくる 玉田 泰太郎/著 童心社 1989.09

たまごのえほん いしかわこうじ/作・絵 童心社 2009.12

たまごのうた 市原淳/絵 フレーベル館 2022.2

★「化石レプリカをつくろう！」

○日時：令和5年5月13日（土）13：30～15：00 ○会場：山口県立山口図書館 第1研修室

○対象：小学生（3年生以下は、保護者同伴。同伴の保護者は1名のみ。）

○定員：12人（要申込み、先着順、定員になり次第締め切り。） ○参加費 無料

○申込方法：5月2日（火）までに、FAX、Eメールにより、住所、名前、学年、電話番号を御連絡ください。

★「第1回新刊児童書閲覧会」

○日時：令和5年5月17日（水）～5月21日（日）9：00～17：00

○会場：山口県立山口図書館 第2研修室（こどもとしょじつ 3F）

○対象：市町立図書館職員、学校図書館関係者、ボランティア関係者、子どもの本に関心のある方

○定員：一人1時間、各時間帯10名程度（要申込み）

○申込方法：来館、FAXまたは電子メール（HP上の参加申込書をダウンロードしてご利用ください。）

◎申込み・連絡先：山口県子ども読書支援センター（電話：083-924-2113 FAX：083-932-2817 Eメール：a50401@pref.yamaguchi.lg.jp）

【新刊紹介】価格は消費税抜き

＜外国語絵本＞

中国語・韓国語の絵本が入りました。言葉が読めなくても、挿絵でそれぞれの文化が味わえます。また、日本語が外国語に訳された絵本もあります。知っている言葉や文が外国語になると……。様々に楽しめます。どうぞ、お手に取られてください。

＜絵本-3, 4歳から＞

『バンバンバンバンソウコウ』 いたうひろし/作 ポプラ社 2023.1 ¥1300

「バンバンバンバンソウコウ はって はがして また はって こまったときには バンソウコウ たのしいときにも バンソウコウ」けがをしたら、していなくても、バンソウコウをはっておいたら、元気になっちゃいそう。おおきいゆからちいさいゆまで、どのページにもバンソウコウがたくさん！楽しいリズムに、思わず踊りたくなりそう。ゆかぬ絵本。

＜絵本-5, 6歳から＞

『ごはんのずかん』 大森裕子/作 白泉社 2023.3 ¥900

いらっしゃいませ！きょうはねんにいちどの「ごはんまつり」のひ。世界中のいろんなごはんがありますよ！おにぎり、たきこみごはん、すし、オムライス、パエリア、きなこもち。ごちゅうもんはおきまりですか？たんぼでぞだてたおこめでつくった、いろとりどりのおいしいごはんを、すきなだけめしあがれ！お米の粒まで丁寧に描かれた絵本。世界のごはんには国旗のマーク付き。

＜絵本-小学校低学年から＞

『パンダのがらをなんにする？』 おおのこうへい/さく・え PHP 研究所 2022.12 ¥1400

ぼくといもうとは動物園にやってきた。いちばんかわいいのは白と黒のパンダ！……でも、まてよ？これが全然違う柄だったら…。シマウマ柄だったら、太ったトラ？水玉柄だったら？渦巻き柄だったら？奇想天外なパンダに、盛大なリアクションで驚く兄妹に、思わず吹き出しそう。よみかきせできっと盛り上がる妄想絵本。『ショートケーキになにのせる？』に続く第2弾。

＜絵本-小学校中学年から＞

『わたしのかんむり』 エミリー・カップ/作 よしいかずみ/訳 化学同人 2023.2 ¥2200

遠い未来のある少女はゴミでできたかんむりをゆずりうけた。その少女が立つのは、ゴミが積みあがった丘。未来の少女が、現在の「あなた」にメッセージを送る。環境について考えるきっかけとなる絵本。作者はイギリスで、自給自足の生活を提唱し環境再生プログラムに携わりながらイラストのほかにも執筆や詩作、彫刻や絵画などの制作活動を行う。本書は初めての絵本。

＜読み物-小学校低学年から＞

『それで、いい！』 磯みゆき/作 はたこうしろう/絵 ポプラ社 2022.11 ¥1300

絵を描くのが大好きなきつね。しかし、やまねこやあひるは絵を見て「だっせえ」「もっときちんと」と言う。きつねはすこい絵を描こうと意気込むがだんだん絵を描くことが楽しくなくなってくる。ある日うさぎの家に行くとそこには捨てたはずの絵があり

…。ありのままの自分でいることの大切さを伝えてくれる物語。第69回青少年読書感想文全国コンクール低学年の部課題図書。

<読み物—小学校中学年から>

『フードバンクどろぼうをつかまえる!』 オンジャリ Q. ラウフ/著 千葉茂樹/訳 スギヤマカナヨ/絵 あすなろ書房 2022.6 ¥1400
母親と妹の3人で生活するネルソンはいつもおなかをすかせている。家計が苦しくなると利用するのはフードバンク。ところがフードバンクを悪用しようとする泥棒の話をきいて…。イギリスのフードバンクや朝食クラブを題材に食の貧困について訴える物語。巻末に日本におけるフードバンク、食の貧困等の解説あり。第69回青少年読書感想文全国コンクール中学年の部課題図書。

<読み物—小学校高学年から>

『魔女だったかもしれないわたし』 エル・マクニコル/著 榎田理絵/訳 PHP 研究所 2022.8 ¥1400
他の子と感じ方が違ったり、予定にないことに対応しにくい少女アディ。自身の暮らすスコットランドの村に「魔女裁判」があったことを知り、慰霊碑を作ることを村の委員会に提案する。自閉的な自己の特性と向き合い、家族や友人に支えられる中で他者理解や障害の受容について社会に訴える少女の物語。第69回青少年読書感想文全国コンクール高学年の部課題図書。

『ふたりのえびす』 高森美由紀/作 フレーベル館 2022.1 ¥1400

転校してきた太一は、新たに「キャラを作って」過ごしている。5年生になり王子と呼ばれる大路優希と郷土芸能「えんぶり」でえびす舞を踊ることに。練習する中でぶつかりあったり、自己を振り返ったりしながら成長する少年たちの物語。作者は地元図書館に勤務する傍ら、児童書から文芸書まで幅広く執筆する。第69回青少年読書感想文全国コンクール高学年の部課題図書。

<読み物—中学生から>

『あした、弁当を作る。』 ひこ・田中/著 講談社 2023.2 ¥1400

ぼくは日下部隴樹、中1男子だ。ある朝突然、送り出してくれる母親が濡れた背中に寒気を覚える。母親の手作り弁当まで疎ましくなってしまう、弁当作りを宣言。掃除のために部屋に入ってほしくないから、洗濯も自分ですることに。ぼくの「変化」を受け入れられず、否定する両親。友だちは「成長期」「反抗期」と好き勝手に言うけれど…。中学生男子の自立心を描いた物語。

『スクラッチ』 歌代朔/作 あかね書房 2022.6 ¥1500

中3の夏、コロナ禍で、幼稚園の鈴音は打ち込んできたバレエの総体が中止に。美術部の僕、千暁が特選をねらっていた審査会も、体育祭の看板展示も中止に。動揺している僕に、美術部顧問の仙先生は「県展」への出品を提案。ところが出品作を見た仙先生から「楽しいか」と問われる。絵と向き合った僕は本心に気づき…。第69回青少年読書感想文全国コンクール中学校の部課題図書。

<ノンフィクション—小学校低学年から>

『ハヤクチさんとギナタさん』 間部香代/作 田中チズコ/絵 あかね書房 2023.4 ¥1800

ぎなた読みとは、語句や文節の区切りを間違えて読むこと。「はち だらけだ」「は ちだらけだ」等。早口のハヤクチさんと、ぎなた読みするギナタさんの仲良しコンビが繰り広げるユーモアたっぷりの会話が楽しい絵本。早口言葉を楽しんだり、区切るところで意味が変わる日本語の言葉の面白さを味わったりできる。「ことばをたのしもう早口ことば」シリーズ全3巻の3作目。

<ノンフィクション—小学校中学年から>

『給食室のいちにち』 大塚菜生/文 イシヤマアズサ/絵 少年写真新聞社 2022.8 ¥1700

みどり小学校の栄養士山川さんと450人分の給食を作る8人の調理員の一日を、コミック形式で紹介。身支度から調理、検食、片付け、献立作りまでをリアルに解説。安全でおいしい給食を、子供達に届けるまでの、栄養士や調理員の仕事や様々な配慮について描く。見返しに調理時の服装、給食室マップあり。第69回青少年読書感想文全国コンクール中学年の部課題図書。

『化石のよぶ声がきこえる』 ヘレイン・ベッカー/作 サンドラ・デュメイ/絵 木村由莉/訳・監修 くもん出版 2022.11 ¥1600

ウェンディは、ほかのみんなが気づかない素敵なものを見つける天才。12歳の時の遠足で化石を発見。やがて世界を飛び回り化石を探そうに…。現在も活躍する女性恐竜ハンター、ウェンディ・スロボダのこれまでのシンプルな文と絵で描く伝記絵本。巻末には女性古生物学者の対談記録、用語集あり。第69回青少年読書感想文全国コンクール中学年の部課題図書。

<ノンフィクション—小学校高学年から>

『中村哲物語』 松島恵利子/著 汐文社 2022.7 ¥1600

パキスタンとアフガニスタンにまたがり医療支援を行い、干ばつによる飢餓の解消のため自らも井戸を掘り用水路を作った医師、中村哲先生の伝記。資金も道具もない中での用水路建設、戦争によりもたらされた惨状等が綴られる。医療、平和、貧困、地球温暖化等、現代の課題について考えるきっかけとなる一冊。第69回青少年読書感想文全国コンクール高学年の部課題図書。

<ノンフィクション—中学生から>

『認知症のわたしから、10代のあなたへ』 さとうみき/著 岩波書店 2022.12 ¥1450

43歳で若年性アルツハイマー型認知症と診断された著者。医療ドラマを見て不安を覚え、検査を受けた当時のこと、診断を受け止めて、ようやく第2の人生を歩み始められるようになったきっかけなど、当事者ならではの日々の心の動きを述べている。年齢や状態に個人差はあるが、認知症の本人や周囲の方々への理解や支援への啓発となる一冊。専門医による解説コラムあり。

<研究書>

『英国児童文学の舞台を訪ねて』 池田正孝/著 東京子ども図書館 2022.12 ¥1600

長年、海外児童文学の舞台を訪問し、数多くの写真を撮りためていた著者による、14の英国児童文学の背景と解説。2020年に出版された『世界の児童文学をめぐる旅』の第2集として計画されたが、2021年に著者の急逝により、遺された原稿を東京子ども図書館が引き継いで編集して出版。巻末に著者年譜、スライド(写真)タイトル一覧、展示用写真パネル一覧あり。

『はじめての絵本 赤ちゃんから大人まで!』 磯崎園子/著 ほるぷ出版 2023.2 ¥1600

絵本ナビ編集長である著者が、月刊『こどもの本』(2021年5月~2022年6月)に「絵本と年齢をあれこれ考える」の題で、年齢ずつの絵本との関係を考察した連載に、書き下ろしを加えた書籍。「はじめて」という題名には、赤ちゃんから大人まで、絵本との出会いを大切にしてほしいという思いが込められている。紹介絵本の書影と書名索引、年齢別のインデックスがある。

※【新刊紹介】の本は、県立図書館で現在受入準備中の本です。そのため、県立図書館の蔵書検索(OPAC)では検索できませんが、利用することは可能です。収書のための選書の参考として、閲覧、貸出等を希望される方は、お問い合わせください。

山口県立山口図書館では、電子図書館サービスを提供しています。利用案内はこちらから→

<http://library.pref.yamaguchi.lg.jp/dlibrary>

